

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2009年8月31日	2009年8月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

## 報告要旨

### 1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別 犯罪集計結果：補足文書 1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書 2

#### A, 一般的傾向

引き続き、治安に不安を感じさせるような状況は見られなかった。但し、リヨンの市内特に旧市街、テロ広場近辺では、夏の暑い時期のため、深夜まで外で飲酒の上騒ぐケースが増加し、警察が特別の巡回を実施し、騒音が過剰な場合には罰金などの刑を課している。言いがかりや、暴力沙汰に巻き込まれないためには、そのような場所への深夜の外出はできるだけ避けることが望ましい。

#### [補足文書 1]

#### B, 地区別 治安情報集計結果

地区別にみると、リヨン東地区、特に Villeurbanne、Vénissieux、またリヨン北部の Vaulx-en-Velin、Décine などでの犯罪が集中しています。軽犯罪のタイプ別に見ると、今月の場合、空き巣が多く、バカンスで閉鎖されている企業を狙った盗難も見られます。また空き巣に次に多いのは、先月と同様の強盗の件数です。

治安とは関係ありませんが、秋からのインフルエンザ流行に対する対策がとられています。今後の進展に注意し、特に子供、妊婦、その他の疾患をもつ人は、普段からの衛生的な習慣を身につけるなど注意が必要です。死亡者の数は国によって大きな差があり、フランスはむしろ太平洋などの海外領土を除くと患者・死亡者数など少ない方だといえるでしょう。

## 2009年8月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり			1														1
空き巣			1		1		1		1	6			2			1	13
置き引き																	0
引ったくり			1			2				1			1				5
万引き		1	1														2
強盗	1	1		1						3		2	2		1		11
窃盗(車・自転車)													1				1
カージャック																	0
車内盗難																	0
猥褻行為・強姦		1															1
いたづら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為		1								1							2
詐欺(カードなど)		1					1			2		1					5
拉致、誘拐																	0
破損・放火																	0
ストーカー																	0
麻薬取引・所持																	0
飲酒/無免許運転																	0
夫婦間暴力							1		1	2							4
軽犯罪										2		1					3
<b>合計</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>17</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>47</b>

備考欄：  
 リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons  
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon  
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison  
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

\*数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

### [補足文書 2]

#### C, 多発の手口と場所の特定・防止策 (新聞による報道記事から)

夏季バカンスシーズンを狙った空き巣が見られます。リヨンの東部、北部に集中しているのが特徴的です。ほとんどの場合、深夜において発生しています。

今月、多く見られるのは恐喝・強盗で、タバコ屋や新聞店、またスーパーなどが狙われています。

夏の暑い時期と関連があるのか、酔っ払いやホームレスの暴力、盗みなどが増えています。特にペラッシュ駅や、地下鉄内、パールデュエ駅など、人の混雑する場所、ホームレスの集まっている付近で多発しています。人通りの少ない時間帯には注意が必要です。

#### ① 強盗

タバコ屋、スーパーなどを狙った強盗が多く見られました。その他、会社などでも週末や夜間に侵入して物品を奪うケースが出ています。転売可能な原料・製品・物品などを保管している企業などは注意が必要です。

- タバコ・新聞店が襲われる。7月31日18時ごろ、覆面をした2人組の男が6区ヴァン

ドーム通りのタバコ・新聞店を襲い、拳銃で脅迫して、売上金やタバコなどを奪って逃走した。(プログレ紙 8月 2日)

- ANSE のスーパーに強盗。8月 3日夕刻、リヨン北部のアンスのスーパーに覆面をした 2人組の男がピストルをもって襲い、売上金を奪って逃走した。(プログレ紙 8月 4日)
- Vénissieux のタバコ・新聞店に強盗。8月 3日朝、Vénissieux のタバコ・新聞店に覆面をした 2人組の男が入り拳銃で脅迫し、売上金とタバコ数カートンを奪ってバイクで逃走した。被害額は約 3500 ユーロ。(プログレ紙 8月 5日)
- リヨン 3区で 38歳のホームレスの男が窃盗の容疑で逮捕された。建物の地下駐車場に侵入して 9台の車を荒らした疑い。(プログレ紙 8月 5日)
- リヨン 4区の Hénon 通りのめがね店に覆面した 2人組の男が侵入し、拳銃で店員を脅して、有名ブランドのめがね 200個とレジにあった現金を奪って逃げた。(プログレ紙 8月 14日)
- Décine にあるコンポスト製造会社に、8月 5日朝 9時 20分頃、2名の覆面をした若者が自転車で侵入し。拳銃で工場長を脅して 200ユーロを奪った。逃走した 2人を追いかけた工場長に対して催涙ガスを放ち、逃げ去った。(プログレ紙 8月 7日)
- 8月 6日、Villeurbanne の路上で、3名のグループが 22歳の若者を取り囲んで刃物で脅し、携帯電話を奪って逃げ去った。(プログレ紙 8月 8日)
- 8月 6日、リヨン 2区の République 通りの店舗内で、若い女性が商品を盗んだところを警備員に捕まり、警察に逮捕された。その他の同類の余罪がないかを調査中だ。(プログレ紙 8月 7日)
- 8月 23日 17時頃、リヨン 6区の Garibaldi 通りのタバコ屋に男が押し入り、売上げを奪って逃走しようとして、駆けつけた警察に捕まった。(プログレ紙 8月 24日)
- 8月 25日 9時頃、Mions のスーパーCasino に覆面をした男が車で乗り付けたところを見た清掃人がスーパーの店員に通報し、店舗の入口が閉鎖されたために強盗は何もできず逃走した。(プログレ紙 8月 26日)
- 8月 25日、リヨン 2区の商店で、27歳のホームレスの男がタバコ屋に押し入り主人を殴ってタバコ 2箱を奪い、逮捕された。(プログレ紙 8月 27日)

## ② 空き巣、盗難

宝石店を狙ったプロの手口もありますが、今月も空き巣の大半はいわゆる「ジプシー」と呼ばれる未成年者による犯行が多いと思われます。その大半は夜間に発生しています。

- 8月 16日の早朝、68歳の男が Meyzieu の果樹園から 36個の梨を盗んだところを逮捕された。果樹園の主人はその夜、テラスで寝ていて、不審な物音に気づいて男を取り押さえ、警察に突き出した。(プログレ紙 8月 17日)
- 8月 10日 14時 55分、Villefranche で 12歳と 13歳の少女 2人が、邸宅に空き巣に入っ てつかまった。所持していた袋には、宝飾類、携帯電話などが見つかった。2人とも定住先を持たない東欧の出身者。2人は特別施設に入所させられた。(プログレ紙 8月 14日)
- 8月 15日深夜、17歳から 20歳の 4人の男が、Villeurbanne のスーパー「カルフル」の敷地内に侵入し、ポテトチップスをダンボール 1箱盗んだところを、隣人の警報で駆けつけた警察に捕まった。(プログレ紙 8月 17日)
- 8月 16日深夜、Caluire の美容院のガラスを割って侵入しレジの金庫や領収書類を盗もうとしたところを、隣人の警報により駆けつけた警察に捕まった。犯人は 27歳の男。
- 8月 16日早朝、16歳の少年 2人組が、窓をよじ登りガラスを割って Villeurbanne の一軒家に侵入。ステレオ、コンピュータ、貴金属を盗み、逃走しようとしたところで、隣人の警報で駆けつけた警察と鉢合わせになった。いったん侵入宅に戻り盗難しようとした物品を残して屋根づたいに逃走したが、しばらくして逮捕された。リュックサックの中にはまだ盗んだ時計が残っており、犯行を認めた。(プログレ紙 8月 17日)

- 8月3日早朝、Ile d'Abeauの宝石店が荒らされた。高級時計・鞆類などが大量に盗まれた。プロの手口で、屋根から侵入して天井の明り取り部分から店内に下り、盗みを働いた。被害総額は69000ユーロ。(プログレ紙8月4日)
- 20歳になる男が、9区のコレージュの盗難事件(7月13日)で逮捕された。自宅に盗難した物品を隠し持っていた。(プログレ紙8月8日)
- 8月3日の深夜に33歳と37歳のルーマニア人が、7区のレストラン2軒のガラスを割って侵入したところを逮捕された。割れたガラスで、男の一人が手に重傷をおった。男たちは酔っ払っていて覚えていないと供述している。(プログレ紙8月7日)
- 8月17日朝、リヨンの南のGivorsの工場で、夜間に300メートルの電線が盗まれていることに気づき届け出た。(プログレ紙8月19日)
- 8月17日の深夜、20歳前後の3人の男が、リヨンにあるアソシエーションの事務所に侵入して盗難を働いたところをつかまった。その他の建物でも、夜間に侵入して盗難をおこなったことを認めている。
- 8月14日深夜3時ごろに5区の家に入らして宝石類などを盗んだ18歳、20歳、16歳の男女が逮捕され、盗んだ宝石類を保持していた。(プログレ紙8月22日)
- Chassieuの警察が16歳から25歳の5人の空き巣常習犯を逮捕した。リヨンの東部を中心に被害があった幾つかの空き巣事件が解決した。バイク、テレビ、ステレオ、宝石、車、高価な盆栽など総額10万ユーロ相当が押収された。(プログレ紙8月23日)

### ③ すり、詐欺

「水道局の職員を装った犯人が家の中に入って、ちょっとした隙に…」というパターンは良く知られた手口ですが、老人などを相手にするこのタイプの詐欺が起っています。家やアパートの中に入れるには、身分証明書など提示させ、十分に確かめてから入れることです。

- 8月22日(金)、地下鉄でスリを働いた19歳の男が、現行犯で逮捕された。男は乗客の財布をすったところだった。(プログレ紙8月25日)
- 65歳の男が、盲人協会会員を装って、ひとり住まいの老人宅を訪問し、相手を安心させてアパート内に入り込み、水が飲みたいなどと言って主人の隙をみて、家の中を物色して現金300ユーロを盗んだ。被害者が気づいて大声を上げ、逃げようとしたところを隣人が取り押さえた。すでに2009年1月から5月の間に同様の手口で数名の老人が被害にあっている。被害総額は230ユーロ。裁判で1年の実刑を言い渡された。(プログレ紙8月3日)
- Condrieuの86歳の老女が、水道局の係員と名乗る男にドアを開け、手口に載せられた末に、隙を見て貴金属や現金を盗まれた。老人を狙ったよくある手口だが、犠牲者が後を絶たない。(プログレ紙8月19日)

### ④ 暴力・窃盗事件

- 7月31日、リヨン2区のペラッシュ駅に勤める女性従業員が、仕事を終えて23時20分ごろ、オープン駐車場に駐車してあった車に向かったところ、すれ違った男に後を付けられた。27歳の男は、女性を強姦しよう抱きつき路上に押し倒したが、女性は男の舌と上唇を噛んだりして抵抗し、大声で助けを求めた。声を聞いて駆けつけた警備員に男は捕えられたが、男はフランス語がしゃべれず、酔っ払っており、何が起こったか覚えていないと供述。8月3日、裁判所は男の精神科医の診断を待つ形で拘留延長を決めた。(プログレ紙8月4日)
- 8月10日深夜から11日未明にかけて、2区の路上で警察の検問で、運転していた38歳の男が飲酒運転であることが判明した。助手席にいた40歳の男が、友人が逮捕されるのを妨害したとして、二人とも逮捕された。(プログレ紙8月13日)
- 16歳の少女が携帯電話を奪い取られ、警察に届け出た(5月23日)。奪った男の友人で犯行の現場にいた15歳の若者が、彼女に告訴を取り下げないと、報復すると脅して警察に捕まった。(プログレ紙8月4日)

- 8月3日、21時45分ごろ、リヨン9区で、夫婦喧嘩の末に37歳の夫が31歳の妻を殴って3日間の怪我を負わせて逮捕された。(プログレ紙8月5日)
- 8月2日、Vénissieuxで、家族間での言い争いの末、33歳の男が37歳の義姉を殴って全治4日間の怪我を負わせ、5日に逮捕された。(プログレ紙8月7日)

## ⑤ カード、小切手に関する窃盗

- 19歳の女性が、7月31日に逮捕された。71歳の老人から小切手を盗み、インターネットや店でおよそ1000ユーロの買い物をした疑いがもたれている。窃盗・文書偽造などの罪に問われている。(プログレ紙8月4日)
- 未成年の若者男女二人がリヨン2区の専門店で買い物をしようとして盗んだ小切手で支払い、逮捕された。調べによると、少年は、少年の友人の両親宅から小切手を盗み出していた。(プログレ紙8月9日)

## 2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

## 3.在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

## 4.リヨン、ローヌアルプ地方の今月の出来事

### ① A型インフルエンザの今月の進展

世界的に人々の移動が多くなる夏季バカンスシーズンを迎え、ほとんど毎日H1N1型インフルエンザ(豚インフルエンザ)のニュースが報道されています。患者数の増加にともない、政府の対応策も日々変化しており、下記にその進展の経過をまとめてみました。今後も秋口にかけて、学校が始まるとともに急激な進展の可能性もあり、注意が必要です。

#### 新学期に向けての対策

- 仏教育省は、秋からの新学期に向けてAH1N1型インフルエンザの流行を想定した対策を公表した。対策措置は以下の3つの柱からなる。1千2百万冊のパンフレットを作成して子供たちの親に配布する。その中で、咳をする際にハンカチや腕で口を覆う、石鹸で手を洗うといった基本的な衛生習慣、感染した人に近寄らないといった注意事項を説明している。第2の柱は、学校で感染が発覚した場合の措置で、同一のクラスから3名の患者が出た場合は学校あるいはそのクラスを閉鎖し、1週間の間消毒する。その間、子供たちは家庭で待機する。第3の柱は、小学校から高校まで学校全体が閉鎖される事態に至った場合、週4日間、教育プログラムをテレビ(France 5で264時間)、ラジオ(France Cultureで288時間)で放送する。この措置期間は最大でも12週間まで。(プログレ紙8月19日)

#### インフルエンザワクチンの製造

- 政府の発表では英仏が新型インフルエンザのワクチンを入手した。まだ販売は許可されていないが、政府が9月28日以降、県知事の決定で接種が可能になる。接種は3週間

の間隔で2回接種が必要。(現在、フランスは4メーカーから購入しており、2回同一のワクチンでなければ無効) 接種は義務的ではなく、無償。(プログレ紙 8月28日)